



令和3年度泉崎村子ども議会を開催

1月26日（水）村役場議場で令和3年度泉崎村子ども議会を開催しました。

本事業は、次世代を担う村の子ども達が「子ども議会」を通じて行政及び村議会の仕組みについて学び、自分たちが暮らす地域について自由な発想や視点から考え質問することで、子どもの主体性を育み、また、意見を村づくりに反映させることを目的として開催され、今年で5回目です。

今年度は、泉崎第一小学校及び泉崎第二小学校6年生から選出された10名の子ども議員の皆さんがそれぞれ村づくりについて質問し、それに対して村長、教育長、担当課長が答弁を行いました。今年度も新型コロナウイルス感染症対策として、選出議員以外の児童は各校でオンライン中継により傍聴しました。来賓には泉崎村議会議員、教育委員計12名にお越しいただき、感染症対策に十分注意しての開催となりました。



いとう ひより
伊藤 妃由議長(一小)



きくち りりか
菊地 凜香議長(二小)

ふじた 藤田 ころも議員(一小)

ゴミのない泉崎村にするために

登下校時にゴミが落ちているのをよく見かけます。道に落ちているゴミは川に流されて生態系に影響を与え災害時の川の氾濫の原因となるそうです。

拾ったゴミを様々なポイントに交換する施設や装備を作ると、親子で参加できて環境問題に対する意識も高まると思うのですが、いかがでしょうか。

答 村では年に3回、クリーンアップ作戦を実施し、村民の皆さまと協力してゴミ拾いを行っております。また、看板や村内放送によってポイ捨て禁止を呼び掛けていますが、依然としてゴミのポイ捨ては無くなっておらず、引き続き周知に努めていきたいと思っております。

また、回収した資源を様々なポイントと交換する施設や装備については、現在整備する計画はありませんが、導入するにあたり必要となる人材や経費など多くの課題を検討する必要があります。議員の提言を受け、全国の優良事例等を調査し参考にしながら、導入可能かどうか検討していきたいと思っております。





通学路に街灯が少ないことについて

私が使っている通学路には、街灯が少ないと感じている箇所が何箇所かあります。その通学路は小学生や中学生が使う通学路でもあり、夕方暗くなると危険を感じます。

通学路に街灯が設置されているか点検し、少ないところに街灯を増やしてほしいのですが、いかがでしょうか。

答 防犯灯の整備については、平成25年から段階的にLED防犯灯へ切替を行うとともに地域のご要望にお応えして通学路を中心に防犯灯の増設も行ってきたところです。

議員ご指摘の箇所の中にも防犯灯を増設した箇所がありますが、それ以外の箇所については住宅が少なく電線が通っていない箇所もあることから、これまで設置が見送られてきたと思われまます。これらの箇所について、一度に防犯灯を整備することは難しいですが、今後村全体の防犯灯の設置状況を確認しながら、通学路を優先して整備していきたいと考えております。

すすき あいさ
鈴木 愛彩議員(一小)

体育館に網戸を設置してほしい

コロナウイルス感染症の感染防止のため、体育館を使用する際は、窓を開けています。しかし、体育館には網戸がないため、虫が入ってくるだけでなく、コウモリが住み着いています。

体育館の床にはフンがたくさん落ちていて、掃除をするのが大変なので、網戸を設置してコウモリの駆除してほしいのですがいかがですか。

答 コウモリについては昨年9月に学校から連絡があり、調査を行っております。

駆除を行うには、出入り口を特定して、入らないための対策を取る必要があります。議員ご提案の網戸の設置も対策の1つと考えられますが、コウモリが活動するのが主に夜であることから、ドアや窓以外の未確認の小さな隙間があり、そこから出入りしている可能性があります。

現在は学校にも協力をお願いし、そのような小さな隙間がないか調査していただいているところです。調査の結果をまとめてから対策等を検討していきたいと考えております。



ひうら かなた
樋浦 奏汰議員(一小)

村のことをもっと他の人に知ってもらうにはどうすればよいか

泉崎村はとてもいい村ですがそれが周りの地域の人に伝わっていないことが残念です。

そこでどのようなアピールの方法が考えられるか話し合ったところ、インターネットを活用したり、様々なイベントを開催したり、いずみちゃんの出番をもっと増やすなどをすればいいという提案がありました。

このような案を実現するためには人手が必要となります。村内に住む外国人の人も参加できると、村民との交流や学習の機会となると思いますがいかがですか。

答 議員ご指摘の通り、最近では新型コロナウイルス感染症の影響により村をアピールする事業等は自粛しなければなりません。現在もそのような状況は続いておりますが、インターネットなどを活用したり、今年度はにわの里に設置された加工場で村の特産品を開発したりしながら、イベントの内容について検討していきたいと思ひます。

村内で働く外国人の方がどこの会社でどのように働いているかは把握していません。労働が目的で村に住んでいる外国人の方は、泉崎国際交流協会の会員にはなっていないようです。外国の方と交流する場を設けるのは難しいかと思ひますが、はにわの里でのイベントに参加していただくようにすることはできるかと思ひます。



渡部 莉央議員(二小)**制服・運動着などのリサイクルボックスの設置について**

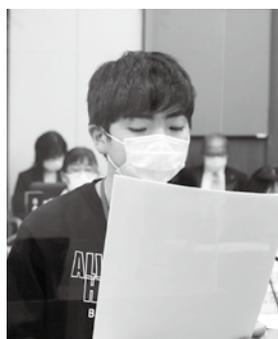
1学期に授業の中で日本で廃棄される衣類の量は年間140万トンになると学びました。最近は衣類の廃棄を減らすために引き取りキャンペーンを行う企業も増えています。

そこで泉崎村にも、衣料品のリサイクルボックスを設置することを提案します。制服や運動着を回収、再利用する機会をつくれれば、衣類の廃棄も少なくなるのではないかと思います。

また、プラスチックゴミの問題も近年大きく取り上げられています。リサイクルボックスで回収するものの種類を徐々に広げていき、環境に優しい村となるような取組みをしてほしいと思いますが、いかがでしょうか。

答 議員ご提案のような制服や運動着のリサイクルボックスを設置するのであれば、ボックスの設置場所は村内小中学校で、保護者が学校に集まる学校行事の際に引き渡しをすることが考えられます。この件については、教育委員会で開催する校長・園長会で検討させていただきます。

リサイクルの方法には学校や中央公民館等での行事に取り入れ、それぞれの団体で取り組める活動もあると考えます。また、行政機関と企業の協同で様々な取組みが実験的に行われているかと思しますので、それらが実現すれば、新たなリサイクル方法として取り組めると思います。

**佐川 樹議員(二小)****泉崎村謎解きウォークについて**

泉崎村にもっと人が集まり、村を活性化させるためのイベントとして、「泉崎村謎解きウォーク」を実施するのはいかがでしょうか。村内にクイズを掲示し、スタンプラリーのように解いて歩き、景品として村の特産物をプレゼントするのはどうでしょうか。スマートフォンやタブレットも活用できると思います。

また、クイズの設置場所を工夫して歩いて移動するようにすれば参加者の健康のためになると思いますが、いかがですか。

答 クイズを使って泉崎村を知ってもらう考えは、面白い発想だと思います。

泉崎村の特産品や子ども達が喜ぶプレゼントを準備し、ホームページなどで情報を発信できれば、興味や関心を持つ人も出てくるかと思します。

また、さつき公園やいずみざき桜ウォークなどにチェックポイントやクイズ等が取り入れられるか等を含めて、実現可能か検討したいと思います。

金澤 雪音議員(二小)**シトラスリボン運動を広めましょう**

新型コロナウイルス感染症には、だれが感染してもおかしくない状況です。感染してしまうと差別や偏見が起きてしまうこともあります。私たち6年生は、差別や偏見をなくすために、シトラスリボン運動を行っています。地域の人に配ったところ、皆さん優しい気持ちで受け取ってくれました。村としても、感染してしまった人への心のケアを行ったり、差別や偏見をなくすためにポスターや広報を使って呼びかけるなど思いやりのある村づくりを進めてほしいと思います。

また、私たちが老人ホーム等を訪れて作り方を教えることもできますが、いかがですか。

答 新型コロナウイルス感染症は、昨年末からの「オミクロン株」の出現により全国的に感染が急拡大しております。福島県を含めて16の都県で「まん延防止等重点措置」が適用されております。

村としても防災無線を使って感染予防対策の継続や誹謗中傷を行わない等の人権に配慮した冷静な行動を呼びかけています。今後もこのような対応を継続していきたいと考えております。

ポスターや作文の作成については、毎年募集が行われております。今後も人権思想の普及啓蒙に努めたいと思います。

また、高齢者施設等でリボンの作り方を教えることは素晴らしいお考えですので、学校の先生方とよく相談して実施に向けて検討してみたいと思います。ただ、その場合は感染症対策には十分ご注意くださいと思います。



「泉崎っ子宣言」を広めることについて

泉崎村には、目指す子ども像として「泉崎っ子宣言」があります。その内容は、「元気にあいさつ、仲良く助け合う、自ら学ぶ、あきらめない、絆を深めふるさとを大切にする」です。教室にも掲示し目標に近づけるよう努力しています。

私たちは、この宣言を村内の人に広め、呼びかけてはどうかと考えました。ポスターを作ったり、期間を決めて強化する項目を決めたりするなど「泉崎村民宣言」として、村全体で取り組んではどうでしょうか。

答 この宣言は、平成30年度に制定に向けて取り組み出し、令和元年度の子ども議会において宣言されました。村内の幼稚園、小学生、中学生や保護者の皆さんで選んだ目指す子どもの姿を表す宣言です。

議員ご提案の村民へと宣言を広めるために、まずは学校、学級内でより宣言が目指す子ども像に近づくためにはどうすればいいのか、課題を見つけ、対応を考え、行動に移していただきたいと思います。皆さんの取り組みが学校全体から家庭へ、地域へ、そして村全体へ広がることと思います。

皆さんの取り組みは教育委員会でも様々な場面で紹介し、行動への参加を呼びかけたいと思います。

箭内村長より全体を通してお話がありました。

ゴミのない泉崎村にするために

ポイ捨てがなくならないことは残念なことです。ゴミ拾いをする人はゴミを捨てないかとは思いますが、今一度ご家庭で話し合うなど親子でゴミの分別について考えていただきたいと思います。

通学路に街灯が少ないことについて

大人と子どもでは目を向ける箇所が異なることを実感いたしました。このほかにも気づいた箇所についてはいつでも情報提供をしていただきたいと思います。

体育館に網戸をつけてほしい

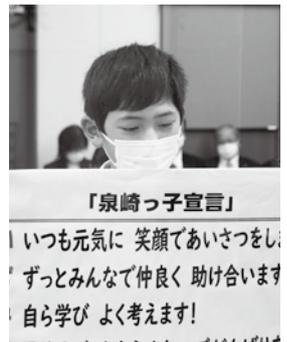
コロナ対策で窓を開けて使用していただいております。虫やコウモリが入り込むのは夜間の使用の際の可能性もありますので、学校と使用団体との間で取り決めも必要になるかと思われますので、検討していきたいと思います。

村のことをもっと他の人に知ってもらうには

村のことをアピールする際には、今後もコロナの状況を確認しながらなるかとは思いますが、何が出来るか検討しながら多くの人に参加でき、もう一度参加したいと思ってもらえるようなイベントを考えていきたいと思います。

議会全体を通して

子ども議員の皆さんは大人に引けを取らないほど堂々とした態度で臨んでいました。質問の内容も大人がなかなか気づかない点を指摘されたと感じています。これからも、お気づきの点等がありましたら随時お知らせいただければと思います。



リサイクルボックスの設置について

ご提案を実施するためには学校での議論が必要になるかと思えます。リサイクルを通して、ものを大切にする気持ちを育てる機会となればと思います。

泉崎村謎解きウォークについて

議員のご提案については、大変ユニークな発想であると感じております。また、樋浦議員のご提案とあわせて考えることでより面白いアイデアが生まれるかもしれません。村の魅力をPRするための参考とさせていただきます。

シトラスリボン運動を広めましょう

優しい気持ちで他人を思いやる素晴らしい運動だと思います。シトラスリボンの作成に子どもからお年寄りまで多くの世代が参加できると思いやりのある村づくりにつながるものと感じます。

「泉崎っ子宣言」を広めましょう

子どもの目指す姿としてのこの宣言ですが、大人に対しても十分通用するものです。皆さんの行動がいずれ村全体に広がっていくものと考えます。

工事なんでも御相談ください(見積り無料)

駐車場工事・アスファルト舗装工事
コンクリート工事・土留工事・建物解体工事
フェンス工事・田・畑・盛土工事・下水工事
建築工事などその他

☆気軽に御相談ください。

株式会社 **福南建設**

☎969-0101 泉崎村大字泉崎字大山41-7

☎ (0248) 53-2506

FAX (0248) 53-3438